

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (素案)

2015（平成 27）年 11 月

市長公室 政策企画課

【 目 次 】

I	戦略の基本事項	1
1	策定の趣旨	1
2	基本的な考え方	1
3	戦略の期間及び構成	2
II	戦略の方向	3
1	目指す姿	3
2	基本目標	3
3	施策の体系	4
III	水戸のまち創生リーディングプログラム	6
IV	推進体制と進行管理	8
1	推進体制	8
2	進行管理	8
V	施策の展開	9
	基本目標Ⅰ 生き生きと働けるしごとを創る	9
	具体的施策（１）地域経済をけん引する産業競争力の強化	9
	具体的施策（２）観光産業の振興，観光消費の拡大	11
	具体的施策（３）多様な雇用の場の創出	13
	具体的施策（４）女性や高齢者等の活躍支援	16
	基本目標Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す	17
	具体的施策（１）水戸への移住・定住の推進	17
	具体的施策（２）芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出	19
	具体的施策（３）水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進	21
	具体的施策（４）水と緑の潤いある拠点の形成	22
	基本目標Ⅲ 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する	24
	具体的施策（１）若い世代へのキャリア支援の推進	24
	具体的施策（２）安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実	26
	具体的施策（３）未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進	28
	具体的施策（４）ワーク・ライフ・バランスの推進	30
	基本目標Ⅳ 安全で安心，誰もが快適に暮らせるまちを創る	31
	具体的施策（１）都市機能の集積と交通ネットワークの形成	31
	具体的施策（２）既存ストック（住宅等）の再生，利活用	33
	具体的施策（３）住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進	34
	具体的施策（４）危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進	37
	具体的施策（５）自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上	38

I 戦略の基本事項

1 策定の趣旨

本戦略は、将来的な人口減少が避けられない中、自主・自立したまちづくりを進めていくため、そして、県都として、水戸都市圏のリーダーとしての役割を果たしていくため、歴史と伝統、芸術・文化、豊かな自然など、水戸ならではの個性と魅力を高め、にぎわいと交流を創出しながら、訪れてみたい、住んでみたいと思われるような、選ばれる魅力あるまちの構築に向けた実効性のある施策を積極的かつ集中的に推進していくため、策定するものです。

2 基本的な考え方

本戦略は、水戸市第6次総合計画一みと魁^{さきがけ}プランナーに掲げた将来都市像「笑顔あふれる安心快適空間 未来に躍動する 魁のまち・水戸」の実現を目指していくことを基本に、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略における4つの基本目標を踏まえ、「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」の3つの視点に重点を置いた計画とし、本戦略において実現を目指す姿とともに、基本目標を定めます。

そして、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻していくことを目指し、好循環を生み出す基軸となる「ひと」が、生き生きと暮らしていくことのできる環境づくりを進めます。特に、人口ビジョンで明らかにされたように、地域経済や文化の発展をリードする若い世代の人口減少に歯止めをかけるため、地元からの流出抑制及び新たな流入の促進に重点化を図ります。

【参 考】

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略（平成26年12月27日閣議決定）

〔政策の基本目標（4つの基本目標）〕

- 基本目標1 地方における安定した雇用を創出する
- 基本目標2 地方への新しい人の流れをつくる
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

◎重点を置く3つの視点

① しごとの創生

本市における重点課題である戦略的観光をはじめ、商業、農業、工業、更には、新たな産業など、あらゆる分野の産業について、地域の資源や特性を生かした振興、持続的な発展を推進するとともに、幅広い分野における企業や事業所の誘致に取り組みながら、雇用の創出を図ります。

② ひとの創生

本市に住んでみたいと思われる、選ばれる居住環境の整備とともに、大学等と連携しながら、地域の活性化を担う人材の育成やしごとの創生に取り組み、若い世代の定住化を図ります。また、子どもを安心して生み、健やかに育てやすい環境整備とともに、将来の水戸を創造し、リードしていくことのできる人材育成の視点に立った水戸らしい教育の充実を図り、若い世代が希望をかなえられるまちづくりを推進します。

③ まちの創生

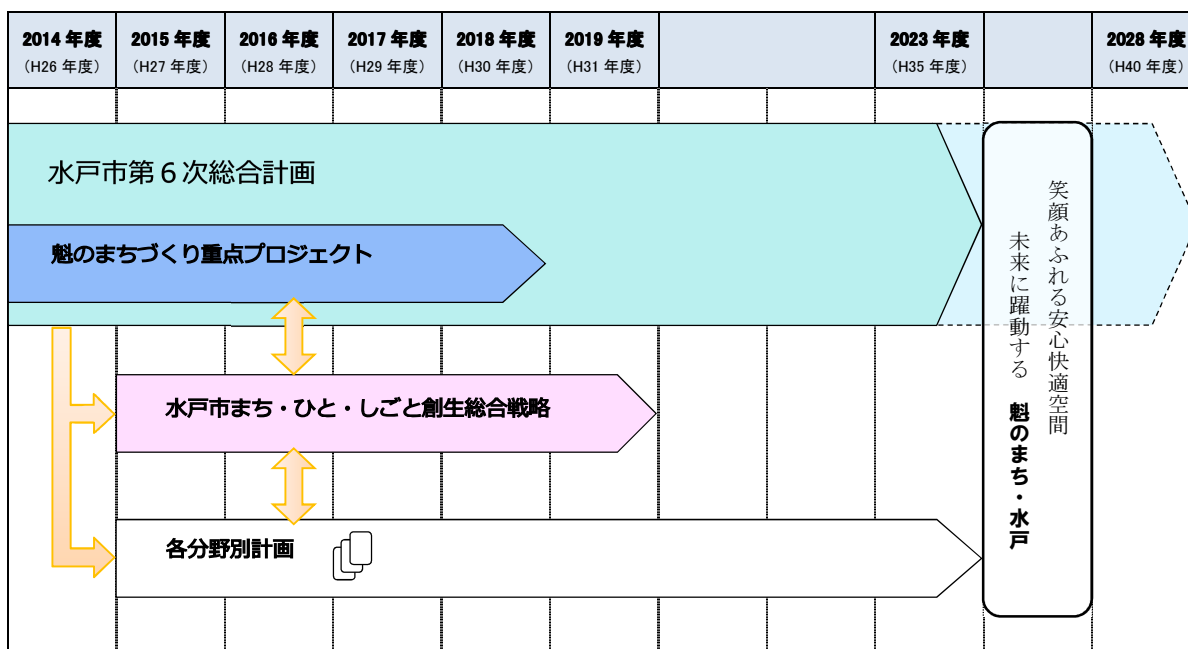
しごとの創生、ひとの創生を支える基盤づくりとして、人口減少社会に対応できる水戸市の地域特性を踏まえたコンパクトシティの実現に向け、都市中枢機能の集積や交通ネットワークを構築し、まちの活性化を図ります。あわせて、県都として、水戸都市圏のリーダーとして、広域的な経済・生活圏の活性化をリードします。

3 戦略の期間及び構成

本戦略は、2019（平成 31）年度を目標年度とし、計画期間は、2015（平成 27）年度から 2019（平成 31）年度までの5か年とします。

戦略の構成として、4つの基本目標ごとに、2019（平成 31）年度の達成すべき数値目標を設定するとともに、基本目標の実現を目指し、具体的施策を定め、その効果を検証できる重要業績評価指標（KPI）を設定します。

【総合戦略の位置付け】



Ⅱ 戦略の方向

1 目指す姿

「しごと」と「ひと」の好循環を生み出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻していくためには、その基軸となる「ひと」が生き生きと暮らせる、暮らしてみたいと思われる選ばれる魅力ある環境づくりを進めていかなければなりません。

水戸市第6次総合計画－みと魁プラン－の都市づくりの基本理念で掲げる、**水戸に住む全ての市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまち**としていくためにも、**あらゆる分野での安心を感じられる環境づくり**とともに、**明るい未来を展望できる経済的発展**が必要です。

そのためにも、**それらのけん引役となる若い世代が生き生きと活動し、暮らしていけるまち**、そして、**その活力が水戸市全体の成長や発展につながっていくまち**を目指します。

若い世代が生き生きと暮らせる 持続的に成長するまち 水戸

2 基本目標

Ⅰ 生き生きと働けるしごとを創る

産業競争力の強化や観光産業の振興等によって、地域経済の活性化を図り、安心して働ける多様な雇用の場を創出していくとともに、安定的な経済活動につなげていくことを目指します。

Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す

移住希望者へのきめ細やかな支援等を推進し、若い世代の定住化を図るとともに、本市の文化や、資源を最大限に活用し、観光交流人口を増加させることにより、ひいては定住人口の増加へつなげていくことを目指します。

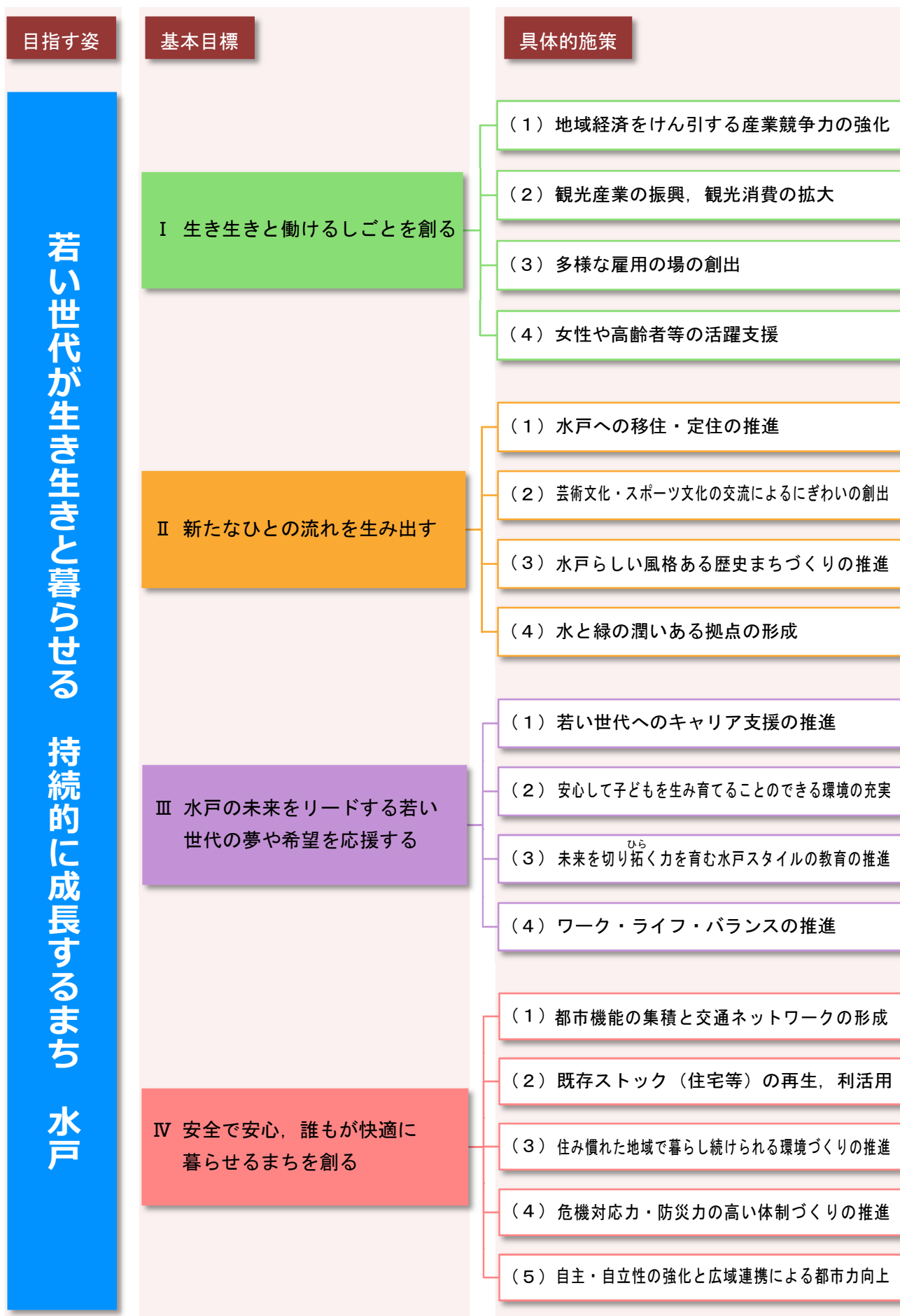
Ⅲ 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する

若い世代が安心して働けるよう雇用の場を創出するとともに、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や質の高い教育の展開、ワーク・ライフ・バランスの確保に取り組むことにより、夫婦が希望する出産・子育て環境を提供し、少子化の歯止めにつなげていくことを目指します。

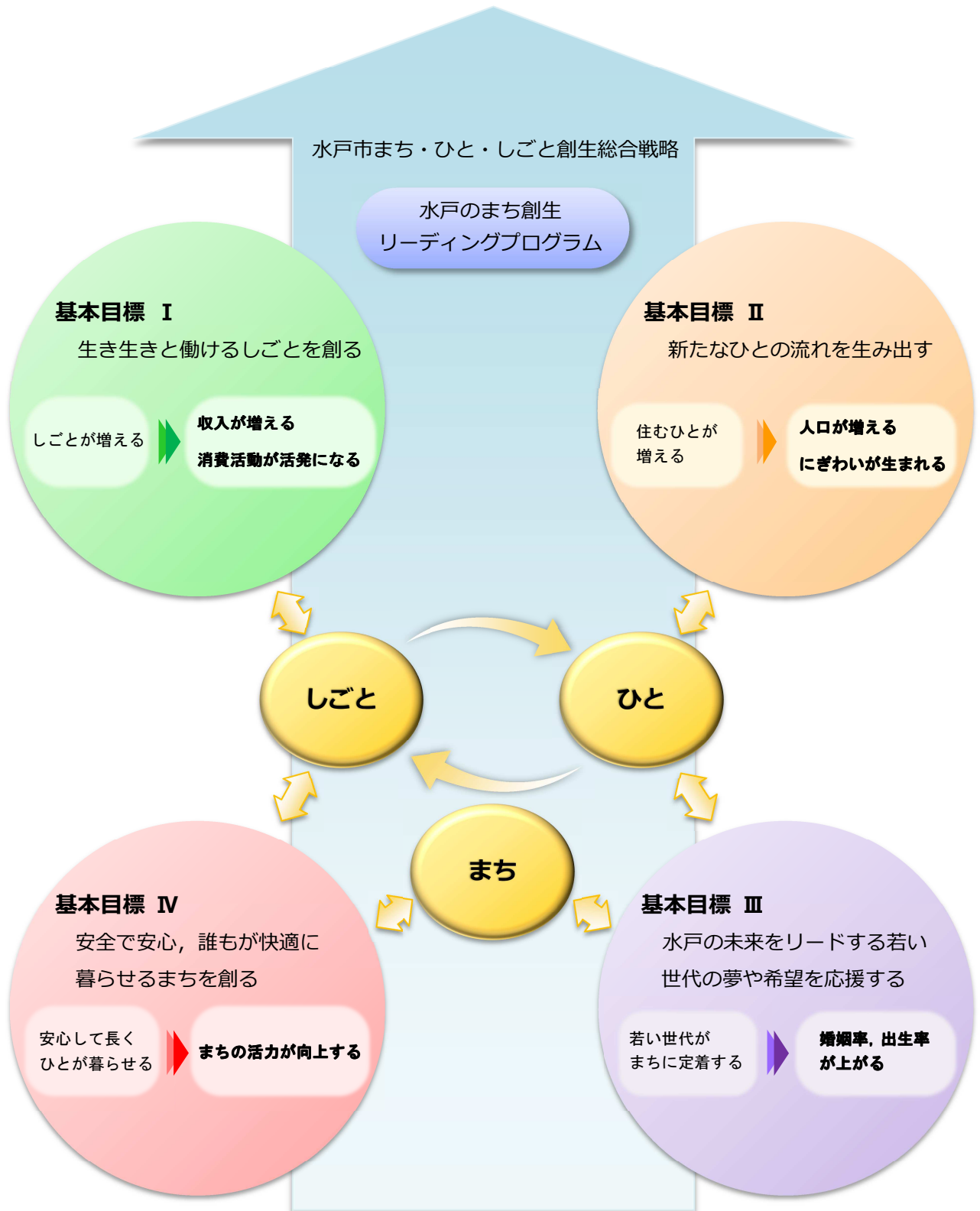
Ⅳ 安全で安心、誰もが快適に暮らせるまちを創る

時代の変化に対応できる都市構造や交通ネットワークを構築するほか、市民一人一人が安全に安心して暮らせる環境づくりを推進するとともに、本市の都市力の向上を図ることにより、市民が誇れるまちとして、まち全体の活性化につなげていくことを目指します。

3 施策の体系



若い世代が生き生きと暮らせる 持続的に成長するまち 水戸



Ⅲ 水戸のまち創生リーディングプログラム

水戸のまち創生リーディングプログラムは、戦略において目指す姿の実現に向け、人口ビジョンで明らかになった課題に、優先的かつ重点的に取り組むものです。

プログラムのテーマ

若い世代の雇用の創出

◎基本的な方向

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻していくために、基軸となるもの、目指す姿の基本となるものは「ひと」です。

人口ビジョンにおいて明らかにされている人口減少により、経済面をはじめ、市民生活の分野などにおいても大きな影響を与えることが懸念される中、**まち全体の発展をけん引していく「若い世代」を確保し、活躍することのできる環境をつくっていく**ことは大変重要な課題です。

そのため、「若い世代」の地元からの流出抑制、新たな流入促進に向け、産業全般の活性化を図ることはもとより、多様化するライフスタイルや価値観に応じた働き方（ワーク・スタイル）を選択することができ、水戸で安心して暮らせるよう働きやすい環境づくりに取り組む「水戸のまち創生リーディングプログラム」を設定します。

※若い世代・・・18歳から40歳前後まで

達成目標
(2019年度)

20～39歳の人口（生産年齢人口の概ね前半世代）

社人研推計値

約 57,000 人



目標値

60,000 人

若い世代に期待される役割

- 地域経済の発展をリードする役割
- 文化の発展をリードする役割
- 地域の活性化を担う役割
- まち全体の発展を担い支える役割



水戸に暮らす全ての市民が安心と幸せを感じられるまち



◎重点的な取組

1 多様な雇用創出と就業支援

◇本社機能移転や企業誘致の推進とあわせ、産業全般の活性化を図り、若い世代の雇用の創出、雇用の質の向上を図るとともに、就業の支援を推進します。

【戦略的な取組】

- 産業交流機会創出事業
- 技術力、競争力の強化・支援
- 商店街活性化の推進
- 企業誘致の促進
- U J I ターンの促進
- 地元企業の雇用の促進
- 国際観光の推進
- 観光特産品の魅力向上と観光産業の強化・育成
- コンベンション誘致活動の推進・強化
- 6次産業化の推進
- 農産物のブランド化とPRの強化
- 地産地消の推進(地場農産物利用促進)
- 認定農業者等担い手の確保・育成
- 女性の活躍推進に向けた環境づくり
- 医療・福祉分野における雇用の促進

2 自主的な起業への支援

◇夢や希望を持って、自ら起業することを志す若い世代のスタートアップを支援します。

【戦略的な取組】

- 創業支援の充実
- ベンチャービジネスの育成・支援
- 店舗開業・出店の推進
- 産・学・官連携による産業の活性化(新ビジネス創造支援)
- 遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進

Ⅳ 推進体制と進行管理

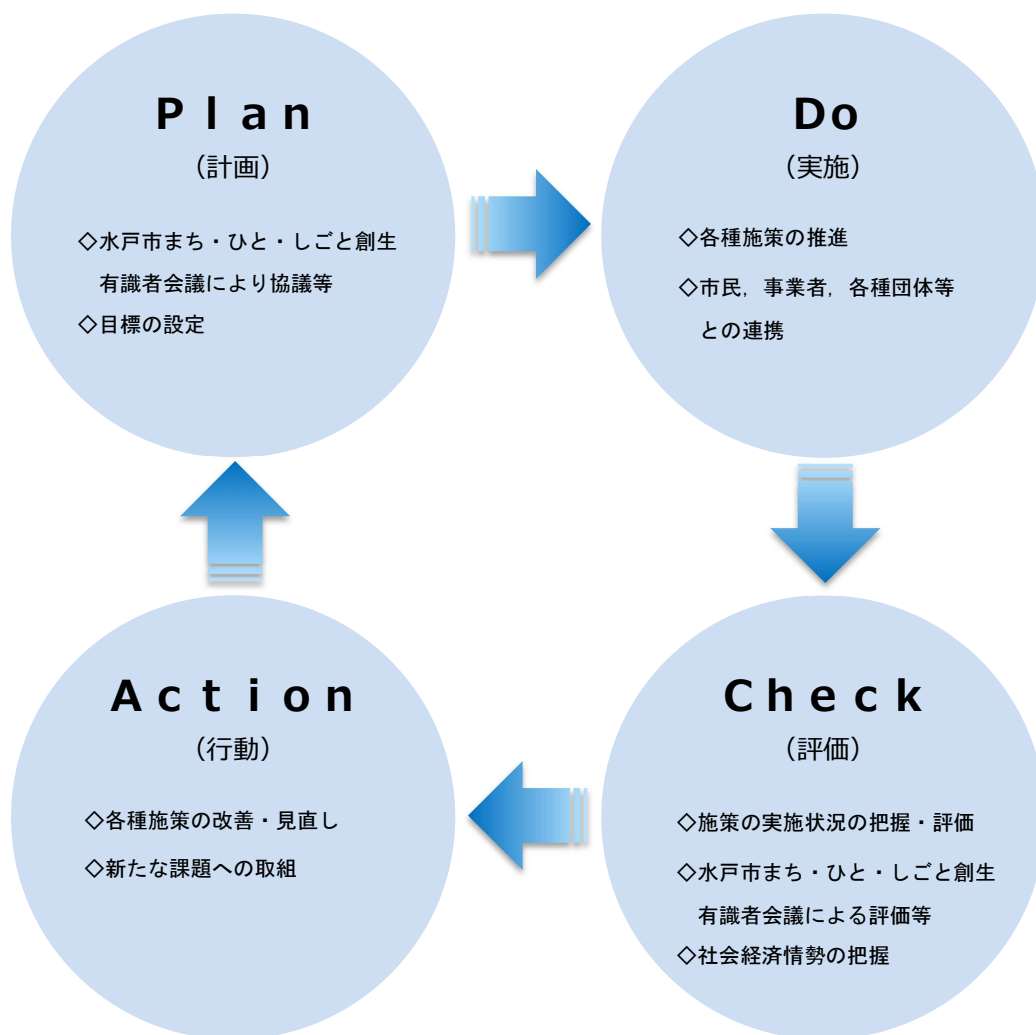
1 推進体制

本戦略の推進に当たっては、市の関係各課、関係機関等との連携はもとより、水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議等の意見を反映させながら、水戸のまち創生リーディングプログラムをはじめ、戦略に位置付けた各種施策に取り組みます。

2 進行管理

本戦略は、社会経済情勢の変化に柔軟に対応するため、毎年度PDCAサイクルによる検証を行い、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

【総合戦略の進行管理システム（PDCAサイクル）】



V 施策の展開

基本目標Ⅰ 生き生きと働けるしごとを創る

産業振興や雇用の創出は、安心して暮らせる経済基盤の構築を目指していく上で大変重要であり、推進していかなければなりません。

産業競争力の強化や観光産業の振興等によって、地域経済の活性化を図り、安心して働ける多様な雇用の場を創出していくとともに、安定的な経済活動につなげていくことを目指します。

【数値目標】

項 目	基 準 値 (2014 年度)	目 標 値 (2019 年度)
市内事業所数 ※資料：総務省統計局（経済センサス-基礎調査-）	14,434 所 (2014 年)	14,650 所 (2019 年)
市民所得 ※資料：県統計課（市町村民経済計算）	999,984 百万円 (2012 年度)	1,080,000 百万円

《例：国の基本目標（成果指標、2020年）》

- ◆若者雇用創出数（地方）・・・2020年までの5年間で30万人
- ◆若い世代の正規雇用労働者等の割合・・・2020年までに全ての世代と同水準（15～34歳の割合：92.2%、全ての世代の割合：93.4%）
- ◆女性の就業率・・・2020年までに73%（2013年69.5%）

【基本的方向】

- これまで培ってきた本市の産業や新たな産業など、あらゆる分野の産業において、地域の資源や特性を生かしながら、振興を図ることにより、地域経済をけん引する産業競争力の強化を目指します。
- 本市の様々な資源を生かした観光産業の振興により、観光消費の拡大を図ります。
- 幅広い分野における企業や事業所の誘致、支援制度の利用促進に取り組み、雇用の創出とともに、若い世代の地元での就職や定着を図ります。
- 女性や高齢者等が生き生きと働き、活躍できる社会を目指します。

【具体的施策と重要業績評価指標（KPI）】

【具体的施策（1）】 地域経済をけん引する産業競争力の強化

産業間の新たな連携による成長産業への転換をはじめ、既存企業等の競争力・経営力の強化、6次産業化や農産物のブランド化の推進などに取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
マッチング会参加企業数（累計）	—	200 社
商店街活性化事業に取り組む団体数（年間）	10 団体	15 団体

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
新 産業交流機会の創出	・地域の特色を生かした産業間の新たな交流・連携を促進し、新商品の開発やサービスの創出などにより、産業の高付加価値化を図り、成長産業への転換に取り組みます。	市，事業者， 商工団体等
新 技術力，競争力強化・支援	・既存企業の生産力強化等への支援や技術者・後継者育成のため、各種工業支援策の活用や学官連携を推進し、市内工業の振興を図ります。	市，事業者， 大学等
商店街活性化の推進	・商店街の魅力向上につながる活性化事業の充実、商店街団体間の一体的な事業などの形成の促進により、集客力の向上、にぎわいの創出を図ります。	商店街
6次産業化の推進	・農業者の所得向上等を図るため、農産加工品の開発・生産・販路拡大に向けた取組の支援を推進します。 ・農産物の知名度向上に向けたPR活動や既存の農産加工センターの利用促進を進め、6次産業化を推進します。	市，営農団体 等
農産物のブランド化の推進	・本市の農産物の市場評価を高めていくため、関係機関と連携しながら、水戸の梅産地づくりに取り組みます。 ・農産物や特産品等の付加価値向上や販路拡大への取組を支援し、農産物等のブランド化を推進します。	市，営農団体 等
地産地消の推進	・農産物等の地域内流通を促進するため、PR活動の充実に取り組みます。 ・農産物等の学校給食等への利用及び食育活動への支援などに取り組み、地産地消を推進します。	市，営農団体 等
優良農地の維持・保全	・農業所得の向上を図るため、優良農地の維持、保全に努めます。 ・認定農業者への農地の集積を促進し、耕作放棄地の発生の防止、解消に取り組みます。	市
新 住宅リフォームの推進	・既存住宅ストックの活用による空き家の再生や発生の抑制のため、長寿命化、省エネルギー化等の住宅リフォーム費用の一部を助成します。	市，事業者

具体的施策（２） 観光産業の振興，観光消費の拡大

本市の歴史，文化，自然など，魅力ある資源を最大限に生かすとともに，戦略的なイベントの展開，各種まつりの充実，国際観光の推進のほか，多様な情報発信などに取り組みます。

【重要業績評価指標（ＫＰＩ）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
梅まつり入込観光客数	522, 000 人	650, 000 人
市内外国人宿泊者数（年間）	15, 421 人	18, 400 人

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進	・梅まつり等のまつりや各種イベントの内容充実を図るなど，世界に誇れる本市のシンボル空間として，通年型の観光地づくりに向けた取組を推進します。 ・好文 cafe 周辺のイルミネーションの設置等に取り組みます。	市，関係団体
弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進	・本市の重要な観光資源として，水戸城建造物の復元への取組にあわせ，弘道館周辺の魅力を周知し，回遊性を高める施策を進めるなど，歴史を生かした観光まちづくりに努めます。	市
ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進	・あじさいまつりの充実をはじめ，八幡宮と連携した散策ルートの検討を進めるなど，魅力づくりを推進します。	市
森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進	・森林公園周辺の豊かな自然環境を活用した，自然とのふれあい，農林業の体験の場を提供することにより，観光誘客を促進するなど，地域活性化を図ります。 ・ＮＰＯや大学等との連携を図りながら，市民参加・協働型の推進体制の構築を進めます。	市，市農業公社
まちなかイベントの開催	・中心市街地の活性化やにぎわいの創出を図るため，水戸まちなかフェスティバルをはじめ，まちなかでのイベント開催や市民主体のイベントへの支援に取り組みます。	市，市商業・駐車場公社，商工団体等

事業名	事業概要	事業主体
戦略的イベントの展開と各種まつりの充実	・市観光協会等の関係機関と連携を図りながら、梅まつりや黄門まつりをはじめとする各種まつりの充実に努めます。 ・観光客のニーズを踏まえた新たなイベントの検討を進めるなど、戦略的な展開を図ります。	市，市観光協会
水戸の花絵巻事業の推進	・植物公園をはじめ，七ツ洞公園や中心市街地において，四季折々の花や香りを楽しみながら回遊できる花の名所づくりを推進します。	市
回遊性を高める機能強化と魅力づくりの推進	・観光客の回遊性向上を図るため，本市の誇る歴史的資源や魅力ある地域資源を結ぶ観光周遊バスの運行に取り組みます。 ・レンタサイクルステーションの増設やルートの拡充に向けた検討を進めるなど，市内を自転車で回遊できる環境づくりに努めます。	市
広域連携による観光地づくりの推進	・茨城空港や北関東自動車道等の広域交通網を活用しながら，いばらき県央地域観光協議会をはじめとする各種広域観光団体との連携により，広域的なイベントの開催やPR活動を実施します。	市，市観光協会
国際観光の推進	・海外からの観光客の誘客促進に向け，外国語に対応した観光案内板の設置をはじめ，市民のおもてなし意識の醸成を図るなど，外国人観光客の受け入れ体制の整備を進めます。 ・訪日を検討する外国人に対して，SNS等を活用した水戸の魅力の発信や情報共有を進めるなど，戦略的なプロモーションを展開します。	県，市，市観光協会
体験・交流型観光の充実	・観光交流人口の増加に向け，水戸らしさを感じることのできる観光や農業等の体験事業，交流事業を実施するなど，滞在型観光を推進します。	市，事業者等
コンベンション誘致活動の推進・強化	・全国規模の会議，大会等のコンベンションを本市に誘致することにより，交流人口の増加，地域のにぎわい創出を図ります。 ・コンベンション施設の拠点となる整備，民間施設等の活用促進など，機能を強化します。	市，市観光協会，大学，事業者等

事業名	事業概要	事業主体
観光特産品の魅力向上と観光産業の強化・育成	・観光特産品の魅力向上を図るため、新たな土産品やご当地グルメの開発、優良観光土産品登録制度の活用を推進します。 ・水戸黒、七面焼等の伝統技術を活用した土産品の開発に取り組みます。	市，市観光協会，事業者等
多様な情報発信の推進	・水戸ならではの歴史・自然をはじめとする地域資源や観光情報について、各種メディアを活用し、効果的に発信します。 ・市民周知PR冊子やシティセールスマガジン、パンフレットなどの内容の充実を図ります。	市
戦略的な観光PR活動の推進	・多様な情報発信ツールなどを積極的に活用し、市内外に対し、水戸の歴史や文化、イベント等の観光の情報を多角的に発信するなど、観光客の増加を図ります。 ・イベント告知、PR活動を幅広く展開することにより、観光客の増加及び本市の通年型観光地としての地位向上に取り組みます。 ・交通網の変化や情報発信の進展を踏まえ、時代のニーズにあわせた分かりやすい観光案内板の整備を進めるなど、観光客の利便性向上を図ります。	市，市観光協会
フィルムコミッションの充実	・地域活性化や観光振興を図るため、関係機関等との連携を強化しながら、フィルムコミッションを通じたロケの誘致や撮影支援に取り組み、水戸の様々な魅力を国内外に発信します。	市
おもてなし力の向上	・各種団体と連携し、市民が参加することのできるホスピタリティ醸成事業の内容の充実を図るとともに、おもてなし力の向上に取り組みます。	市，関係機関

【具体的施策（３）】 多様な雇用の場の創出

企業誘致促進事業をはじめ、空き店舗を活用した創業支援、認定農業者等担い手の確保・育成、医療・福祉分野における人材の確保・雇用促進などに取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
創業支援事業計画推進事業等による 新規創業件数（累計）	37 件	200 件
企業誘致による立地事業所数	—	25 事業所

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
創業支援の充実（創業支援事業計画に基づくサポート体制の強化、創業支援セミナーの開催等）	・民間事業者と連携し、経営、財務、人材育成、販路開拓の知識を習得できるよう、創業志望者に対する継続的な支援を実施するほか、国の支援措置を活用しながら、地域における創業を支援し、地域の活性化、雇用の創出を図ります。	市、市商業・駐車場公社、商工団体等
店舗開業・出店の推進（空き店舗対策助成制度による誘致施策）	・出店に係る経費の一部を助成し、中心市街地等における空き店舗の活用や個性的で魅力あふれる店舗の誘導を図るなど、まちのにぎわいや新たな雇用の創出に取り組みます。	市、市商業・駐車場公社、商工団体等
新 企業誘致の促進	・就業機会の拡大、産業系拠点の更なる集積と機能強化はもとより、本市の特徴でもある第3次産業（商業・サービス業）を中心とした各種企業や商業施設の立地を促進します。 ・中心市街地への企業誘致を促進するため、既存制度の拡充に向けた検討を進めます。	国、市
新 ベンチャービジネスの育成・支援（コワーキングスペースの運営等）	・起業を目指す事業者に対して、コワーキングスペースをはじめとした新商品・新技術を生み出す環境を提供することでベンチャーの加速化を図ります。 ・コミュニケーションスペースなど、産学連携を促進するための施設を設置することにより、学生とベンチャー企業の交流を図り、各々が持つ情報を共有することで、その組み合わせの中から新製品・新技術を生み出しやすい環境を整備します。	市、市商業・駐車場公社
新 産学官連携による産業の活性化（新製品・新技術開発の支援）	・既存産業の機能強化及び新産業の創出・育成に向け、産学官連携による講演会を実施し、広域連携による販路拡大への取組や知的財産(特許)を活用した事業の提案を促進します。	市、事業者、大学等
新 UJIターンの促進（UJIターン企業説明会の開催）	・県外の大学に進学した地元出身者等に対し、水戸の就職先を紹介する説明会を開催し、本市への若い世代の定着を促進します。	県、市、事業者

事業名		事業概要	事業主体
新	地元企業の雇用の促進	・地元企業の雇用促進に向け、教育機関と連携したインターンシップの実施に取り組む企業に対する支援を行います。 ・市内の中・高生及び大学生を対象とした体験型の職業セミナー等を開催するなど、人材の育成・確保を図ります。	市，事業者
	遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進（水戸まちなかりノベーション事業）	・リノベーションスクールを開催し、民間まちづくり会社の立ち上げ等を促進しながら、遊休不動産を活用した都市型ビジネス等の集積を推進します。 ・民間の力による持続可能なまちづくりを図るため、創業時の制度融資貸付等、新たな支援制度の創設についての検討を進めます。	市，市商業・駐車場公社，商工団体等
認定農業者等担い手の確保・育成		・就農者の確保・育成に向け、農業後継者，新規就農者の支援をはじめ，サポート体制の充実等に取り組めます。	市，農業公社
医療・福祉分野における人材の確保，雇用の促進	産婦人科等の医師の確保	・県央・県北地域の周産期医療を担う地域周産期母子センターに対する支援を行うことにより，産婦人科医の確保を図ります。 ・大学病院等と連携し，水戸市休日夜間緊急診療所の小児科医の確保を図ります。	市，関係機関
	看護師の確保	・看護師の養成を一層推進していくため，人材を創出する看護職員養成機関の運営等に対する支援を行います。 ・潜在看護師の復職の支援，促進等を実施している関係機関と連携し，看護師の確保を図ります。	市，関係機関
	介護従事者の確保	・介護給付等の市の基準等の公表により，介護給付費の適正化や介護の質の向上に取り組めます。 ・地域包括ケアの構築に向け，介護従事者の処遇改善を推進するなど，介護人材の確保に努めます。	国，県，市
	保育士の確保	・保育の質の向上を図るため，関係機関と連携を図りながら，保育士の確保，適正配置に努めます。 ・職場体験講習会を実施するなど，保育士への就業意欲の向上を図ります。	市，関係機関

具体的施策（４） 女性や高齢者等の活躍支援

様々な分野における女性の活躍の推進をはじめ、中高年齢者や若年者等の雇用の促進、障害者の就労支援に取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
市内事業所での女性管理職の割合	10% (2013 年度)	20%
スキルアップセミナー参加者数（年間）	40 人	100 人

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
女性の活躍推進に向けた環境づくり	・女性の就業（再就職，キャリアアップ，起業等）支援や，事業所が女性の活躍推進に向け取り組むよう働きかけを行うなど，女性が生き生きと働き活躍することができる環境の整備を図ります。	市，各種団体，事業者
新 オープンデータ活用による女性の活躍の支援	・オープンデータやビッグデータを活用し，本市における女性が働く環境の可視化を図るアプリケーション開発を推進し，女性の社会進出を支援します。 ・アプリケーションの運営を通して，市民・行政・企業の継続的な交流活動の創造を図ります。	市，関係団体
新 中高年齢者，若年者及び女性等の雇用の促進	・中高年齢者，若年者及び女性等の雇用の促進を図るため，関係機関と連携を図りながら，就職面接会を開催します。 ・就労支援サイトの運営やスキルアップセミナーを開催するなど，求人ニーズに適應する人材の育成に取り組めます。 ・シルバー人材センターの活動を促進するなど，高齢者が就労しやすい環境づくりを推進します。	県，市，関係機関等
障害者の雇用の促進	・障害者の雇用の促進を図るため，水戸市障害者共同受発注センターを通して，受注先や販売ルートの確保に努めます。 ・工賃向上を目指して，魅力ある商品の開発支援を推進します。	市，関係機関，事業者

基本目標Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す

移住希望者へのきめ細やかな支援等を推進し、定住人口の増加を図るとともに、本市の文化や、資源を最大限に活用し、観光交流人口を増加させることにより、ひいては定住人口の増加へつなげていくことを目指します。

【数値目標】

項 目	基 準 値 (2014 年度)	目 標 値 (2019 年度)
社会増（人口動態） ※資料：県常住人口調査結果（社会動態：転入・転出の差）	88 人 (2014 年)	600 人 (2019 年)
観光交流人口 ※資料：県観光客動態調査報告	3,426,000 人 (2014 年)	4,090,000 人 (2019 年)

《例：国の基本目標（成果指標、2020年）》

◆地方・東京圏の転出入均衡(2020年)・・・地方→東京圏転入均衡 6万人減，東京圏→地方転出 4万人増
※現状：東京圏年間 10万人入超

【基本的方向】

- 市外から水戸への移住希望者等に対し、官民連携による住生活情報の提供をはじめ、住みかえへの支援や民間住宅を活用した市営住宅の供給など、きめ細やかな取組を推進し、水戸への移住・定住を促進します。
- 水戸の大きな魅力である水戸芸術館を中心とした芸術文化、市民一人一人が育んできたスポーツ文化の一層の進展に努めるとともに、コンベンション誘致に向けた取組などを推進し、観光交流人口の増加を図ります。
- 本市の歴史と文化財を最大限に活用し、水戸らしい風格と安らぎの感じられる魅力ある歴史まちづくりを推進し、観光交流人口の増加を図ります。
- 本市の豊かな自然環境を生かした交流拠点の整備をはじめ、潤いと魅力あふれる景観の形成などを推進し、観光交流人口の増加を図ります。

【具体的施策と重要業績評価指標（KPI）】

【具体的施策（１）】 水戸への移住・定住の推進

子育て世帯等まちなか住みかえ支援をはじめ、官民連携による住生活支援情報提供事業や民間住宅活用型市営住宅事業など、移住・住みかえ希望者への支援等に取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
中心市街地（都市核）の居住人口	17,297 人	18,800 人
まちなか住みかえ支援事業 利用件数（累計）	—	280 件

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
新 まちなか住みかえの推進 （子育て世帯等住みかえ支援）	・ 中心市街地における住宅の取得を支援するなど、中心市街地への移住・定住を促進し、居住人口の増加を図ります。 ・ 関係団体との連携を図りながら、まちなかライフスタイルにふさわしい生活空間を提案するなど、中心市街地の魅力発信に取り組みます。	市，事業者
新 住宅リフォームの推進 （再掲）	・ 既存住宅ストックの活用による空き家の再生や発生の抑制のため、長寿命化、省エネルギー化等の住宅リフォーム費用の一部を助成します。	市，事業者
住生活支援情報の提供（空き家の未然防止等）	・ 官民連携による情報交流の場を創設するなど、住生活に関する効果的な情報提供に取り組みます。 ・ 空き家の未然防止に向け、不動産業等の関係団体との連携による相談窓口の活用をはじめ、マイホーム借上げ制度等の普及による住宅の流通促進を図ります。 ・ マンション管理組合の長期修繕計画作成等の活動支援に向けた検討を進めます。	市，市民，事業者，関係団体
新 民間住宅活用型市営住宅の供給	・ 住宅の確保に、特に配慮を要する方の居住の安定を確保するため、民間の賃貸住宅等を活用した借上げ市営住宅を提供します。	市，事業者
新 まちなか共同住宅の整備の促進	・ 中心市街地の居住人口の増加を図るため、共同住宅の整備に対する支援に取り組みます。	市，事業者

具体的施策（２） 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出

市民主体の芸術文化活動や水戸芸術館を中心としたまちのにぎわいづくりを推進するとともに、本市ならではのスポーツ大会の開催、コンベンション誘致活動の推進・強化、文化施設やスポーツ施設の整備などに取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
大規模スポーツ大会（東日本大会以上） の開催数（年間）	9 大会	13 大会
コンベンション誘致・支援数（年間）	57 件	80 件

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
市民主体の芸術文化活動の 促進	・ 市民が芸術文化に親しめる環境の充実を図るため、水戸市芸術祭をはじめとした市民の主体的な芸術文化活動を支援します。 ・ 質の高い芸術を身近に感じる機会の提供に努めます。	市，市芸術振興財団
水戸芸術館を中心としたまちのにぎわいづくりの推進 （みと・HIKARI・プロジェクトの開催等）	・ 大学との連携を図りながら、専門的な技術や見地からタワーのライトアップ事業を実施し、光（HIKARI）が日常に溶け込んだ光の作品を提供することにより、特に中心市街地におけるにぎわいの創出を図ります。	市
新 水戸芸術館パートナーシップ制度の導入，推進	・ 水戸芸術館来館者に，中心市街地の飲食店・雑貨店等において特典を受けられる店舗等のマップを配布するなど，水戸のまちの回遊促進を図り，にぎわいの創出に取り組みます。	市，市民，市芸術振興財団，事業者
新 オセロの聖地・みと・発信プロジェクトの推進	・ 第 40 回世界オセロ選手権大会及び国内の全国大会を本市に誘致し，貴重な文化資源であるオセロの一層の普及とまちづくりへの活用を図り，国内外に向けた水戸のブランド力の向上とまちの魅力の発信に取り組みます。	市，各種団体等
水戸ならではのスポーツ大会の開催	・ 既存の各種スポーツ大会・イベントの充実・強化を図るほか，水戸ならではのスポーツ大会を開催します。 ・ 交流人口の増加に資するスポーツコンベンションの推進等に取り組みます。	市，各種団体

事業名	事業概要	事業主体
新 水戸黄門漫遊マラソンの開催	・新たにフルマラソン大会を開催することにより、全国に水戸の魅力を発信するとともに、市民の地元への愛着を深めるほか、市外からの参加により地域活性化を図ります。	市、各種団体
新 第74回国民体育大会の開催に向けた取組の推進	・平成31年の国民体育大会の開催を契機に、競技力の向上はもとより、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツコンベンションを推進します。 ・水戸ならではの個性と魅力を発信するほか、市民等との協働により、機運の醸成に向けた取組等を実施します。	市、市民、各種団体等
コンベンション誘致活動の推進・強化（再掲）	・全国規模の会議、大会等のコンベンションを本市に誘致することにより、交流人口の増加、地域のにぎわい創出を図ります。 ・コンベンション施設の拠点となる整備、民間施設等の活用促進など、機能を強化します。	市、市観光協会、大学、事業者等
スポーツ施設・環境の充実	・スポーツコンベンションの拠点、にぎわいや交流の創出、中心市街地の活性化に資する多目的な利用が可能なスポーツ施設を整備します。 ・既存スポーツ施設の改修及び機能の充実等を推進します。	市
（仮称）東部公園の整備	・多世代に渡ってスポーツやレクリエーションを楽しめ、また、自然と親しみ触れ合える空間を提供するため、スポーツ・レクリエーションゾーン等の整備を推進します。	市
新たな市民会館の整備	・市民の芸術文化創造の拠点、そして、交流を創出するコンベンションの拠点である新たな市民会館の整備を推進し、市民の芸術文化の向上と福祉の増進、経済の活性化につながる交流人口の増加を図ります。	市

事業名	事業概要	事業主体
泉町 1 丁目北地区市街地再開発事業等の推進	・新市民会館を主要施設とする泉町 1 丁目北地区の再開発事業を推進し、新たな交流や活力、にぎわいが創出されるコンベンションの拠点、歴史的・文化的資源との相乗効果によるまちの活性化に資する拠点、また、水戸芸術館と一体となった芸術文化の発信拠点の形成に取り組みます。 ・同地区周辺における安全で快適な道路環境、駐車場等の整備に取り組みます。	組合，市

【具体的施策（３）】 水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進

日本遺産に認定された水戸の教育遺産でもある偕楽園や弘道館周辺の魅力づくり・歴史まちづくりをはじめ、ロマンチックゾーン（保和苑周辺）の魅力づくりや世界遺産登録に向けた取組、千波湖公園の整備事業などに取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
偕楽園の年間入込観光客数（年間）	958,213 人	1,120,000 人 (2019 年)
弘道館の年間入込観光客数（年間）	58,886 人 (2014 年)	110,000 人 (2019 年)

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進（再掲）	・梅まつり等のまつりや各種イベントの内容充実を図るなど、世界に誇れる本市のシンボル空間として、通年型の観光地づくりに向けた取組を推進します。 ・好文 cafe 周辺のイルミネーションの設置等に取り組みます。	市，関係団体
弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進（再掲）	・本市の重要な観光資源として、水戸城建造物の復元への取組にあわせ、弘道館周辺の魅力を周知し、回遊性を高める施策を進めるなど、歴史を生かした観光まちづくりに努めます。	市
ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進（再掲）	・あじさいまつりの充実をはじめ、八幡宮と連携した散策ルートの検討を進めるなど、魅力づくりを推進します。	市

事業名	事業概要	事業主体
世界遺産登録に向けた取組の推進	・近世日本の重要な教育遺産である弘道館や偕楽園の世界遺産登録に向け、関係自治体との広域連携による活動を推進します。 ・日本遺産としての広報活動を展開するなど、登録に向けての機運の醸成を図ります。	市，関係自治体
魅力ある景観の形成	・水戸の歴史と文化，自然景観を生かしたまちづくりに向け，景観に対する市民の意識の醸成を図りながら，地域の特性を踏まえた建築物等の規制・誘導や歴史的資源等を活用した景観づくり等を推進します。	市，市民，事業者
偕楽園公園（千波公園等）の整備	・観光に訪れた人々が親しめる場，市民の憩いの場として，水際園路等の整備を推進します。	市，関係機関
偕楽園周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備）	・本市の貴重な歴史的資源を生かし，歴史と文化，自然が調和した魅力ある景観形成に向け，電線地中化や舗装の美装化による道路の景観整備を推進します。	市
弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備）	・歴史的資源の魅力を高めるとともに，回遊性の向上による中心市街地のにぎわいの創出に向け，電線地中化や舗装の美装化による道路の景観整備を推進します。	市
ロマンチックゾーン（保和苑）の整備	・あじさいの名所として保和苑リニューアル整備や参道等の景観整備を推進します。	市

具体的施策（４） 水と緑の潤いある拠点の形成

森林公園周辺や七ツ洞公園（英国式庭園）における魅力づくりをはじめ，豊かな自然環境を活用した景観の形成，千波湖の水質浄化などに取り組みます。

【重要業績評価指標（ＫＰＩ）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
森林公園来園者数（年間）	160,000 人	208,000 人
七ツ洞公園来園者数（年間）	59,345 人	81,000 人

[主な事業]

事業名	事業概要	事業主体
森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進（再掲）	・森林公園周辺の豊かな自然環境を活用した，自然とのふれあい，農林業の体験の場を提供することにより，観光誘客を促進するなど，地域活性化を図ります。 ・NPOや大学等との連携を図りながら，市民参加・協働型の推進体制の構築を進めます。	市，市農業公社
七ツ洞公園（英国式庭園）の魅力づくり	・英国式庭園を生かしたイベント等を開催し，魅力の発信に取り組みます。 ・園内の未整備部の庭園や駐車場，進入路の整備等を推進します。	市
水戸の花絵巻事業の推進（再掲）	・植物公園をはじめ，七ツ洞公園や中心市街地において，四季折々の花や香りを楽しみながら回遊できる花の名所づくりを推進します。	市
魅力ある景観の形成（再掲）	・水戸の歴史と文化，自然景観を生かしたまちづくりに向け，景観に対する市民の意識の醸成を図りながら，地域の特性を踏まえた建築物等の規制・誘導や歴史的資源等を活用した景観づくり等を推進します。	市，市民，事業者
森林公園の整備	・自然景観を生かしながら，利用者ニーズにあわせた整備を行い，来園者の増加を図ります。	市
大塚池公園の整備	・多くの人々の交流創出に向け，市民の憩いの場として，公園利用者のニーズにあわせた施設の整備や駐車場整備の検討を進めます。	市
千波湖の水質浄化の推進	・千波湖や桜川のきれいな水の再生に向け，市民と行政との協働により，水質浄化を推進します。 ・環境保全団体・関係機関等を図りながら，ホタル等の水生生物の保護・再生に向けた環境づくりや生物の多様性を育むビオトープの整備など，市民主体の水辺環境づくりを支援します。	国，県，市，市民

基本目標Ⅲ 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する

若い世代が安心して働けるよう雇用の場を創出するとともに、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や質の高い教育の展開、ワーク・ライフ・バランスの確保に取り組むことにより、夫婦が希望する出産・子育て環境を提供し、少子化の歯止めにつなげていくことを目指します。

【数値目標】

項 目	基 準 値 (2014 年度)	目 標 値 (2019 年度)
合計特殊出生率 ※資料：水戸市（情報政策課）	1.52 人 (2013 年度)	1.60 人
保育所待機児童数 ※資料：水戸市（幼児教育課）	158 人 (4 月 1 日)	待機児童ゼロ (2017 年度)

《例：国の基本目標（成果指標、2020年）》

- ◆安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考えている人の割合・・・40%以上(2013年度 19.4%)
- ◆第1子出産前後の女性継続就業率・・・55%(2010年 38%)
- ◆結婚希望実績指標・・・80%(2010年 68%)
- ◆夫婦子ども数予定(2.12)実績指標・・・95%(2010年 93%)

【基本的方向】

- 若者の地元での就業機会の拡大を図るとともに、技術・能力育成を支援し、経済的安定を促進します。
- 結婚・妊娠・出産・子育てにおけるきめ細やかで切れ目のない支援を通し、水戸での「出会い・生み・育てる」を促進します。
- 質の高い教育の展開により、未来をリードする子どもたちの学力向上をはじめ、郷土を愛する心、心身ともにたくましく生きる力を育みます。
- ワーク・ライフ・バランスが社会に浸透するよう広報活動や企業等への働きかけを実施することにより、誰もが仕事にやりがいや充実感を感じながら、家庭においては子育てや介護の時間を持ち、地域活動への参加や自己啓発など、個人の時間を持てる豊かな生活の実現を推進します。

【具体的施策と重要業績評価指標（KPI）】

【具体的施策（1）】 若い世代へのキャリア支援の推進

UJIターンや地元企業の雇用の促進をはじめ、女性の社会進出への支援、認定農業者等担い手の確保・育成などに取り組めます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
UJIターン企業説明会参加企業数（年間）	—	50 社
地元企業セミナー参加者数（年間）	—	200 人

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
新 UJIターンの促進（UJIターンの企業説明会の開催）（再掲）	・県外の大学に進学した地元出身者等に対し、水戸の就職先を紹介する説明会を開催し、本市への若い世代の定着を促進します。	県，市，事業者
新 地元企業の雇用の促進（再掲）	・地元企業の雇用促進に向け、教育機関と連携したインターンシップの実施に取り組む企業に対する支援を行います。 ・市内の中・高生及び大学生を対象とした体験型の職業セミナー等を開催するなど、人材の育成・確保を図ります。	市，事業者
創業支援の充実（創業支援事業計画に基づくサポート体制の強化，創業支援セミナーの開催等）（再掲）	・民間事業者と連携し、経営，財務，人材育成，販路開拓の知識を習得できるよう，創業志望者に対する継続的な支援を実施するほか，国の支援措置を活用しながら，地域における創業者を支援し，地域の活性化，雇用の創出を図ります。	市，市商業・駐車場公社，商工団体等
新 ベンチャービジネスの育成・支援（コワーキングスペースの運営等）（再掲）	・起業を目指す事業者に対して，コワーキングスペースをはじめとした新商品・新技術を生み出す環境を提供することでベンチャーの加速化を図ります。 ・コミュニケーションスペースなど，産学連携を促進するための施設を設置することにより，学生とベンチャー企業の交流を図り，各々が持つ情報を共有することで，その組み合わせの中から新製品・新技術を生み出しやすい環境を整備します。	市，市商業・駐車場公社
新 産学官連携による産業の活性化（新製品・新技術開発の支援）（再掲）	・既存産業の機能強化及び新産業の創出・育成に向け，産学官連携による講演会を実施し，広域連携による販路拡大への取組や知的財産（特許）を活用した事業の提案を促進します。	市，事業者，大学等
女性の活躍推進に向けた環境づくり（再掲）	・女性の就業（再就職，キャリアアップ，起業等）支援や，事業所が女性の活躍推進に向け取り組むよう働きかけを行うなど，女性が生き生きと働き活躍することができる環境の整備を図ります。	市，各種団体，事業者
認定農業者等担い手の確保・育成（再掲）	・就農者の確保・育成に向け，農業後継者，新規就農者の支援をはじめ，サポート体制の充実等に取り組めます。	市，農業公社

事業名	事業概要	事業主体
ボランティア団体、NPO等の活動の活性化	・協働事業提案制度の継続的な運用を図るなど、ボランティア団体・NPO等の主体的な取組を支援します。 ・幅広い分野で活動するボランティア団体、NPO等の活動情報をWebサイトで提供するなど、市民活動と人材のマッチングを促進し、地域で活躍する人材の育成や新たな事業展開のきっかけづくりを推進します。 ・市民が活動しやすい・参加しやすい環境づくりに向け、市民活動センターの設置への検討を進めます。	市、各種団体
新 困難を抱える若者への社会参加の促進	・市内におけるひきこもりやニートなど、若者へのサポート情報を提供するなど、若者の社会参加を促進します。	市
キャリア教育の推進	・児童生徒に対して、地域の産業や地域資源について理解を深める教育や、施設見学、職場体験、職業体験を行い、学校の学習と社会とを関連付けた教育を推進します。	市

【具体的施策（２）】 安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実

保育所待機児童の解消をはじめ、様々な保育ニーズに対応した多様な子育て支援や放課後児童対策を推進するほか、出産・子育てしやすい医療環境づくり、結婚に向けた支援に取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
市民センター子育て広場開設数（累計）	10 か所	20 か所
開放学級における 待機児童がいない学校数（累計）	24 校	33 校

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
保育所待機児童の解消	・定員拡大に向けた民間保育所の整備を促進します。 ・多様なライフスタイル等にあわせた保育サービスを選択できるよう、小規模保育施設、家庭的保育事業等の地域型保育事業を拡充します。	市、事業者

事業名		事業概要	事業主体
多様な子育て支援の推進	交流の場の提供	・子育てに対する負担を軽減するため、わんぱく・みと、はみんぐぱく・みとを中核施設として、身近な地域における地域子育て支援拠点事業や市民センター等を活用した子育て広場などと有機的な連携を図ることにより、多様な交流の場を提供します。	市，各種団体
	子育てニーズへのきめ細やかな対応	・ファミリー・サポート・センター事業の充実や病児保育の拡充など，様々な子育てニーズにきめ細やかに対応します。 ・子育てに関する講座等の開催により，学習機会の充実に努めます。 ・子育て支援相談員の配置や多様なメディアを活用した情報提供により，サービスの円滑な利用を促進します。	市，各種団体
	ひとり親家庭等への支援の充実	・ひとり親家庭等の子どもが健やかに成長するよう，支援の充実を図ります。 ・児童虐待等の未然防止・早期発見を図るため，関係機関等との連携により，支援体制の強化を図ります。	市，各種団体
放課後児童対策の推進		・放課後における児童の安全な居場所を提供するため，開放学級・民間学童クラブや放課後子ども教室の充実を図ります。 ・開放学級の児童受入の拡大に向け，施設の整備等を進めます。	市，事業者，各種団体
妊産婦支援の充実		・保健師等による産前・産後にかけてのワンストップ相談や子育て応援メールマガジンの配信，母乳相談等の産後ケア事業，妊婦歯科健康診査など，妊娠から産後にかけての切れ目のない妊産婦支援事業に取り組みます。	市，関係機関
出産・子育てしやすい医療環境づくりの推進		・医療費負担を軽減し，子どもを生み育てやすい環境を創っていくため，妊産婦や子どもの医療費を助成します。 ・不妊に悩む方の経済的負担の軽減を図るため，不妊治療費用の一部を助成します。	市，関係機関
新 結婚支援の推進		・市内中学校等の卒業者を対象とした同窓会開催への支援をはじめとした出会いをサポートする施策に取り組むほか，恋愛・結婚に関する講演会の開催等を進め，恋愛・結婚に対する意識の醸成に努めます。	市

事業名	事業概要	事業主体
新 オープンデータ活用による女性の活躍の支援（再掲）	・オープンデータやビッグデータを活用し、本市における女性が働く環境の可視化を図るアプリケーション開発を推進し、女性の社会進出を支援します。 ・アプリケーションの運営を通して、市民・行政・企業の継続的な交流活動の創造を図ります。	市，関係団体

具体的施策（３） ひら **未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進**

水戸スタイルの教育（まごころプラン，さきがけプラン，ふれあいプラン）をはじめ，郷土教育，国際理解教育，芸術教育の推進などに取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
放課後学力サポート事業導入校数（累計）	1 校	15 校
学力診断のためのテスト（県）の総合得点の平均点（対県平均との比較）	[小 6] +1.9 点 [中 3] +12.5 点	[小 6] +6 点 [中 3] +21 点

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
水戸スタイルの教育の推進	・本市の特色ある歴史や文化，自然，地域の人材を生かしながら，小中一貫教育や学力向上，いじめ解決など，一体的に教育を推進することにより，次世代をリードする子どもたちを育成します。	市，各種団体
まごころプランの推進（小中一貫教育の推進）	・広い世界で活躍できる資質・能力の育成をはじめ，郷土を愛し，社会に貢献しようとする態度の育成や，感性豊かで信念をもった生き方のできる心の育成など，水戸の特色ある教育を体系化した小中一貫教育を推進します。	市，各種団体
さきがけプランの推進（学力向上の推進）	・学力向上サポーター（非常勤講師）を活用し，習熟度別学習など個に応じた学習指導を行い，本市の学力向上を図ります。 ・子どもたちの学習習慣や生活習慣の確立を図るため，放課後等における学習支援を充実します。	市，各種団体

事業名	事業概要	事業主体
ふれあいプランの推進（いじめ解決推進）	・ いじめ解決に向けたふれあいプランをはじめ、道徳教育や人権教育を進めます。 ・ おもてなしの心の育成に取り組むなど、子どもたちの他人への理解や思いやりを育むこころの教育を推進します。	市，各種団体
体力向上プログラムの推進	・ 子どもの発達に応じた体力向上プログラムを推進します。 ・ 水戸ホーリーホックや様々なスポーツ競技団体等と連携し、スポーツへの興味、関心を高める授業を行うなど、子どもたちが運動に親しむことができるよう、健やかな体づくりに努めます。	市，各種団体
郷土水戸に関する教育の充実	・ 水戸の自然、歴史、文化等に対する理解と愛情を深め、心豊かでたくましい子どもたちを育成するため、本市独自の社会科や道徳の副読本等を活用し、郷土水戸に関する教育の充実を図ります。	市，各種団体
国際理解教育の推進	・ 英語指導助手（ＡＥＴ）を活用しながら、全ての保育所・幼稚園での英語遊びや小・中学校へオール・イン・イングリッシュ授業を導入するなど、会話を中心としたコミュニケーション能力の向上等に取り組みます。	市，各種団体
芸術教育の推進	・ 音楽、演劇、美術の各分野における一流の芸術に直接ふれ、感性や表現力を育むことができるよう、子どものための音楽会や演劇・音楽鑑賞会を開催するなど、水戸芸術館と連携した事業を推進します。	市，各種団体
情報教育の推進	・ 小・中学校における教育用コンピュータ等の整備、充実を図りながら、ＩＣＴ機器を積極的に活用した情報教育を推進し、子どもたちの情報活用能力を育成します。	市
自然体験学習の充実	・ 自然とのふれあい、人との交流を通じた心身ともに調和のとれた健全な発達に向け、船中泊を伴う自然教室や少年自然の家を活用した取組等を推進します。	市，各種団体
児童生徒や保護者の悩み・不安解消のための相談の充実	・ 児童生徒や保護者の悩み・不安解消のため、教育相談を実施するなど、相談体制の充実を図ります。	市，各種団体
一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	・ 障害のある子どもが、地域の小・中学校に通うことができるよう、支援員の配置の拡充をはじめ、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図ります。	市

事業名	事業概要	事業主体
学校における食育の推進	・子どもたちの望ましい食習慣の形成に向け、学官連携により、大学の人的・知的資産の活用を図ります。 ・食に関する指導体制の充実を図ります。	市，大学
大学等との連携による学校教育活動の推進	・各教科や放課後活動の指導補助として大学生を派遣するなど、大学等との連携による学校教育活動を推進します。	市，事業者，大学等

具体的施策（４） ワーク・ライフ・バランスの推進

長時間労働の抑制，育児休業の取得促進，働き方に関する意識や職場環境の見直し等企業取組への支援などに取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進に関する講演会等の開催回数（累計）	1 回	8 回
ワーク・ライフ・バランスへの取組を行っている事業所の割合	16.1% (2013 年度)	60%

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
女性の活躍推進に向けた環境づくり（再掲）	・女性の就業（再就職，キャリアアップ，起業等）支援や，事業所が女性の活躍推進に向け取り組むよう働きかけを行うなど，女性が生き生きと働き活躍することができる環境の整備を図ります。	市，各種団体，事業者
新 企業労務改善の支援	・ワーク・ライフ・バランスを推進し，働く男女が家庭生活と仕事を両立できる環境をつくるため，関係機関と連携を図りながら，長時間労働抑制など企業の労働環境の向上に向けた働きかけを行います。	市，各種団体，事業者
育児休業の取得の促進	・市民や事業者に対し，育児休業に係る各種法制度の趣旨や内容について，広報・啓発・情報提供するほか，講習会を開催するなど，育児休業制度の普及を促進します。	市，各種団体，事業者

基本目標Ⅳ 安全で安心、誰もが快適に暮らせるまちを創る

時代の変化に対応できる都市構造や交通ネットワークを構築するほか、市民一人一人が安全に安心して暮らせる環境づくりを推進するとともに、本市の都市力の向上を図ることにより、市民が誇れるまちとして、まち全体の活性化につなげていくことを目指します。

【数値目標】

項 目	基 準 値 (2014 年度)	目 標 値 (2019 年度)
生活環境の満足度 ※資料：未来の水戸をつくる市民 1 万人アンケート	73.5% (2012 年)	78%

【基本的方向】

- まちなか居住の推進をはじめ、都市核への機能の集約などを図りながら、都市部と周辺部それぞれの持つ資源や特性を生かし、適正な役割分担のもと、市民生活の利便性向上を図り、次世代に過度の負担を残さないまちを形成します。また、都市核と地域の生活拠点を結ぶ公共交通の利便性向上に取り組むとともに、人と環境に優しいまちなか交通体系の構築に向け、歩いて楽しめる道路空間や快適な自転車通行空間の整備を推進します。
- 住宅や社会資本などの既存ストックの適切な維持管理と更新を図り、それらの機能を今後とも維持して本市の経済や市民の生活の発展を支えます。
- 身近なコミュニティ、行政等がそれぞれの役割や特性に応じ、自助・近助・共助・公助による連携強化により、住み慣れた地域における安全で安心な暮らしに向けた取組を推進します。
- 隣近所や地域において助けあう地域防災を一層推進するとともに、地震や火災に強い都市基盤づくりに取り組み、市民生活における様々な不安解消を図ります。
- 自主・自立したまちづくりに向け、中核市移行への取組を推進します。また、県央地域首长懇話会において、水戸市が中心市となって、医療をはじめ、福祉、産業振興、環境、教育、地域交通などの分野で、構成市町村と連携して、定住自立圏の形成を目指します。更に、北関東中核都市連携会議において、広域的な観光振興などに取り組み、それぞれの都市力の向上、ひいては、北関東全域の活性化を目指します。

【具体的施策と重要業績評価指標（KPI）】

【具体的施策（１）】 都市機能の集積と交通ネットワークの形成

まちなか公共交通の利用促進をはじめ、地域公共交通の再編、まちなか住みかえ支援、都市核における交流拠点の整備などに取り組めます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
中心市街地の歩行者通行量	109,800 人	126,300 人
路線バス利用者数（一日当たり）	29,656 人	32,600 人

【主な事業】

事業名		事業概要	事業主体
まちなか交通体系の確立	まちなか公共交通の利用促進	・路線バスが集中する区間（水戸駅～大工町区間）において、バスを利用しやすい環境を提供するなど、公共交通の利用促進に取り組みます。	市，事業者
	自転車利用環境の整備	・社会実験の実施及び効果の検証を行いながら、自転車利用環境整備計画を策定し、安全で快適な自転車利用環境の整備に取り組みます。	国，県，市
	新たなバリアフリー基本構想の策定及び施策の推進	・新たなバリアフリー基本構想を策定し、建築物、公共交通機関、道路、公園など、まちなかにおけるバリアフリー化・ユニバーサルデザインの導入を推進します。	市
地域公共交通の再編		・公共交通基本計画及び地域公共交通再編実施計画を策定し、バス路線の再編、交通結節点の整備をはじめ、モビリティマネジメントに取り組むなど、都市核を中心としたコンパクトな都市構造の構築に資する交通ネットワークの充実及び周辺地域を結ぶ公共交通の維持、利便性の向上を図ります。	市，事業者
新 まちなか住みかえの推進（子育て世帯等住みかえ支援）（再掲）		・中心市街地における住宅の取得を支援するなど、中心市街地への移住・定住を促進し、居住人口の増加を図ります。 ・関係団体との連携を図りながら、まちなかライフスタイルにふさわしい生活空間を提案するなど、中心市街地の魅力発信に取り組みます。	市，事業者
新 まちなか共同住宅の整備の促進（再掲）		・中心市街地の居住人口の増加を図るため、共同住宅の整備に対する支援に取り組みます。	市，事業者
新 都市機能の集約・再配置の推進		・持続可能な都市構造となるコンパクトシティの構築に向け、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画を策定し、都市機能誘導区域において、公共施設の再配置を視野に入れながら、都市機能の集約を図るほか、居住誘導区域において、居住を推進します。	市
新 水戸駅北口地区のまちづくりの推進		・水戸駅北口地区において、新たなまちなか交流拠点や歴史まちなみ形成を図るため、民間が実施するまちづくりへの支援に取り組むなど、にぎわいの創出を図ります。	組合，市

事業名	事業概要	事業主体
新たな市民会館の整備（再掲）	・市民の芸術文化創造の拠点、そして、交流を創出するコンベンションの拠点である新たな市民会館の整備を推進し、市民の芸術文化の向上と福祉の増進、経済の活性化につながる交流人口の増加を図ります。	市
泉町１丁目北地区市街地再開発事業等の推進（再掲）	・新市民会館を主要施設とする泉町１丁目北地区の再開発事業を推進し、新たな交流や活力、にぎわいが創出されるコンベンションの拠点、歴史的・文化的資源との相乗効果によるまちの活性化に資する拠点、また、水戸芸術館と一体となった芸術文化の発信拠点の形成に取り組みます。 ・同地区周辺における安全で快適な道路環境、駐車場等の整備に取り組みます。	組合、市
歩いて楽しめる道路空間の整備	・中心市街地の活性化に向け、南町地区において、地元と連携を図りながら、歩いて楽しめるまちなかの形成及びアクセス性の向上に取り組みます。	市

【具体的施策（２）】 既存ストック（住宅等）の再生、利活用

住宅リフォームの推進をはじめ、空き家の未然防止、市営住宅の建替え事業及び長寿命化型改修、水戸駅北口駅前広場の再整備などに取り組みます。

【重要業績評価指標（ＫＰＩ）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
住宅リフォーム助成件数（累計）	—	920 件
J T I（移住・住みかえ支援機構）マイホーム 借上げ制度の市内取扱店舗数（累計）	2 件	6 件

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
新 住宅リフォームの推進 （再掲）	・既存住宅ストックの活用による空き家の再生や発生の抑制のため、長寿命化、省エネルギー化等の住宅リフォーム費用の一部を助成をします。	市、事業者

事業名	事業概要	事業主体
住生活支援情報の提供（空き家の未然防止等）（再掲）	・官民連携による情報交流の場を創設するなど、住生活に関する効果的な情報提供に取り組みます。 ・空き家の未然防止に向け、不動産業等の関係団体との連携による相談窓口の活用をはじめ、マイホーム借上げ制度等の普及による住宅の流通促進を図ります。 ・マンション管理組合の長期修繕計画作成等の活動支援に向けた検討を進めます。	市，市民，事業者，関係団体
市営住宅の建替え及び長寿命化型改修の推進	・老朽化した市営住宅の建替えと長寿命化型改修により，安全性及び居住水準の向上を図るとともに，エネルギー消費の抑制による環境に配慮した住宅の整備を進めます。	市
新 民間住宅活用型市営住宅の供給（再掲）	・住宅の確保に，特に配慮を要する方の居住の安定を確保するため，民間の賃貸住宅等を活用した借上げ市営住宅を提供します。	市，事業者
水戸駅北口駅前広場の再整備	・人と環境にやさしいまちなか交通体系の確立に向け，水戸駅北口駅前広場のバリアフリー化改修を推進します。	市

具体的施策（３） 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進

地域コミュニティ活動の活性化をはじめ，地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進や医療・福祉分野における人材の確保や雇用の促進，生涯学習を通じた人材育成などに取り組めます。

【重要業績評価指標（ＫＰＩ）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
水戸市安心・安全見守り隊 参加団体・事業者数	85 (2012 年度)	120
公的病院等救急医療等に係る医師数	261 人	261 人（維持）

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
地域コミュニティ活動の活性化	・地域コミュニティ活動の活発化を図り，市民と行政との協働による持続可能な地域社会づくりを進めていくため，地域コミュニティプランの実現に向けた活動を支援します。 ・水戸市住みよいまちづくり推進協議会と連携し，町内会・自治会への加入促進をはじめ，地域の主体的な活動を支えるリーダーづくり等を推進します。	市，市民，地域団体，各種団体
ボランティア団体，NPO等の活動の活性化（再掲）	・協働事業提案制度の継続的な運用を図るなど，ボランティア団体・NPO等の主体的な取組を支援します。 ・幅広い分野で活動するボランティア団体，NPO等の活動情報をWebサイトで提供するなど，市民活動と人材のマッチングを促進し，地域で活躍する人材の育成や新たな事業展開のきっかけづくりを推進します。 ・市民が活動しやすい・参加しやすい環境づくりに向け，市民活動センターの設置への検討を進めます。	市，各種団体
新 高齢者等の外出支援策の推進	・公共交通空白地区等のモデル地区において，地域ニーズを踏まえた外出支援策の実証実験に取り組みます。	市
災害時要配慮者支援の充実	・地域みんなで支えあい，安心して生活できる環境づくりに向け，高齢者，障害者をはじめとする災害時要配慮者に対し，関係機関等との連携強化，情報の共有化を進めながら，安否確認や避難所への移動支援に係る体制整備など，災害時における支援の充実を図ります。	市，市民，地域団体
地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進	・高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう，地域包括ケアシステムの構築に向け，住まい・医療・介護・介護予防及び生活支援等の一体的なサービスの提供を推進します。	市，事業者，各種団体
地域見守り・支えあいの推進	・地域における見守り体制を構築し，支援を要する市民を地域住民が支えることで，住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを推進します。	市，市民，事業者

事業名		事業概要	事業主体
多世代交流の推進		・市民センターをはじめ、老人福祉センター、子育て支援・多世代交流センター等を活用し、子どもたちや高齢者をはじめ、多くの世代がふれあい、交流できる場の確保を図ります。 ・多世代交流事業等を通じ、子育て支援や高齢者の生きがいを推進するとともに、地域コミュニティ力の向上を図ります。	市，市民，地域団体，各種団体
緊急診療体制の充実		・市民が安心して医療サービスを受けることのできる地域医療環境の確立に向け、救急や周産期などの不採算医療等の機能を担う市内の公的病院に対して支援を行います。 ・関係機関と連携しながら、休日夜間診療等の緊急診療体制の充実を図ります。	市，関係機関
医療・福祉分野における人材の確保，雇用の促進（再掲）	産婦人科等の医師の確保	・県央・県北地域の周産期医療を担う地域周産期母子センターに対する支援を行うことにより、産婦人科医の確保を図ります。 ・大学病院等と連携し、水戸市休日夜間緊急診療所の小児科医の確保を図ります。	市，関係機関
	看護師の確保	・看護師の養成を一層推進していくため、人材を創出する看護職員養成機関の運営等に対する支援を行います。 ・潜在看護師の復職の支援，促進等を実施している関係機関と連携し，看護師の確保を図ります。	市，関係機関
	介護従事者の確保	・介護給付等の市の基準等の公表により，介護給付費の適正化や介護の質の向上に取り組みます。 ・地域包括ケアの構築に向け，介護従事者の処遇改善を推進するなど，介護人材の確保に努めます。	国，県，市
	保育士の確保	・保育の質の向上を図るため，関係機関と連携を図りながら，保育士の確保，適正配置に努めます。 ・職場体験講習会を実施するなど，保育士への就業意欲の向上を図ります。	市，関係機関

事業名	事業概要	事業主体
生涯学習のしやすい環境づくりの推進	・社会情勢の変化に対応し、多様化・高度化する市民ニーズに応じた講座等を開催し、学習機会の充実を図ります。 ・様々な学習情報の提供に向け、みと好文カレッジを中心とした学習情報の収集・提供や学習相談の充実に努め、生涯学習のしやすい環境づくりを推進します。 ・学びを通して蓄積される人材やノウハウ等を地域づくりに生かすため、あなたも師・達人制度の活用拡大に努めるとともに、生涯学習サポーター等の活動促進を図ります。	市
道路・公園ボランティアサポートの推進	・市道において清掃美化活動を行う市民団体等を道路の里親として認定し、快適で美しい道路環境づくりを進め、地域貢献への意識の高揚を図ります。	市，市民，各種団体

具体的施策（４） 危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進

市民協働による地域防災や災害時要配慮者への支援の充実をはじめ、雨水排水整備プログラムの推進、住宅の耐震化の促進などに取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
自主防災組織による防災訓練等の参加者数	8,000 人 (2012 年度)	10,000 人
浸水被害箇所数	201 か所	108 か所

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
新 市民協働による地域防災の推進	・更なる地域防災の充実・強化を図るため、自主防災組織への支援や地域防災訓練の拡充等を図りながら、新たに大学生が地域防災（地域コミュニティ）に積極的に参加できる環境整備に取り組みます。	市，大学，地域団体
災害時要配慮者支援の充実（再掲）	・地域みんなで支えあい、安心して生活できる環境づくりに向け、高齢者、障害者をはじめとする災害時要配慮者に対し、関係機関等との連携強化、情報の共有化を進めながら、安否確認や避難所への移動支援に係る体制整備など、平常時から災害時における支援の充実を図ります。	市，市民，地域団体

事業名	事業概要	事業主体
次世代防災リーダーの育成	・次世代の地域を担う子どもたちに対し、防災や地域コミュニティの重要性を伝える防災教育を実施し、「助けられる人」から「助ける人」の育成及び地域コミュニティへの参加意欲の高揚を図ります。	市、地域団体
水戸市雨水排水施設整備プログラムの推進	・浸水被害の早期軽減、被害箇所数の減少を図るため、既存施設を有効に活用した雨水排水施設の整備とともに、市民や事業者との協働により、雨水流出抑制を進め、総合的な浸水対策に取り組めます。	市、市民、事業者
新 民間住宅・建築物の耐震化等の促進	・耐震改修促進計画に基づき、旧耐震基準で建築された民間住宅の耐震化率の向上に取り組めます。 ・違反建築物の是正に向け、パトロールを継続して実施します。	市、市民、事業者

具体的施策（５） 自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上

茨城県央地域定住自立圏の取組など広域連携を強化するとともに、中核市移行に向けた取組を進めます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項 目	基準値 (2014 年度)	目標値 (2019 年度)
茨城県央地域定住自立圏における連携事項数	—	10 項目
北関東中核都市連携会議における連携事業数	—	5 事業

【主な事業】

事業名	事業概要	事業主体
新 茨城県央地域定住自立圏の取組の推進	・県央地域における住民の生活機能の確保やネットワークの強化を図り、地域全体を維持・発展させていくため、定住自立圏の取組を推進します。	構成 9 市町村
北関東中核都市連携会議における連携事業の推進	・北関東圏全体としての魅力や自主性・存在感を高めていくため、北関東 3 県における中核的な都市である 4 市（水戸市・前橋市・宇都宮市・高崎市）が連携を図りながら、新たな施策・事業展開に取り組めます。	構成 4 市

事業名	事業概要	事業主体
新 中核市移行に向けた取組の推進	・更なる事務権限の拡大により，市民が誇れる住みやすいまちづくり，特色を生かした自立したまちづくり，選ばれる魅力的なまちづくりを目指し，中核市移行に向けた取組を推進します。	市，県